

● 活動目的

当院手術室の安全管理および手術業務の効率化と運営の円滑化を図る。

● 活動状況

1. 会議開催状況(2020 年度)

手術室運営委員会 2020 年 7 月 28 日, 2021 年 1 月 26 日

手術室運営会議 2020 年 5 月 26 日, 9 月 29 日, 11 月 24 日, 2021 年 3 月 23 日

2. 活動内容

1) 体位固定による合併症の予防

体圧分散マットや多層性シリコンパッドの使用基準、皮膚神経予防マニュアルを作成し、多職種で情報共有を行った。また手術室運営室会議で検討し、診療科、麻酔科の協力を得て術中除圧を開始している。2020 年度の表皮剥離、術後発赤ともに昨年度と比較し約 50% 程度減少している。

2) WHO安全チェックリストの導入

WHO安全チェックリストをもとに、チェックリストとチェックリスト使用手順を作成し、全診療科でタイムアウトの内容と方法を統一した。チェックリストを用いてタイムアウトを行い、手術前安全確認を継続して行っていく。

3) 災害シミュレーション

新型コロナウイルス感染症を視野に入れた大規模震災を想定し、災害シミュレーションを多職種で実施した。シミュレーションをもとに発生時に行うことをポスターにし掲示した。また、既存のフリーチャートを改訂し、災害時の備えとした。

4) 効率的な手術室運営

手術オーダー締め切り以降は手術枠をフリーとし、積極的な手術受け入れを行っている。麻酔科、各診療科の協力を得た、可能な限り日勤帯で手術を行えるように枠や列の調整を行っている。

5) 新型コロナウイルス感染症対策

帝王切開を受ける患者を想定した、多職種シミュレーションを行い、手術室感染対策マニュアルを作成した。

2020 年度、新型コロナウイルス感染症疑似症患者の手術を 3 件行ったが、マニュアルに沿って行動し、大きな問題は発生しなかった。実践で出た意見を基にマニュアルの改訂を行い、今後の備えとした。また、衛生材料の備蓄状況を共有し、可能な手術では布ガウンを使用するなど協力を得て衛生材料の備蓄を行った。